

令和8年度 事業計画

I 国際化促進事業

1 国際交流事業

計画額 2, 0 5 5 千円

(1) 草の根国際活動助成

民間レベルの国際交流、国際協力及び多文化共生活動を奨励するため、国際交流団体等の自主的な活動に対し助成を行う。

助成額：1団体につき1事業限度額10万円（ただし、多文化共生事業は20万円まで）

(2) とやま国際草の根交流賞

国際交流や国際協力の活動を草の根レベルで実践している個人、団体を顕彰し、県民の国際交流や国際協力に関する意識の啓発、向上を図る。

表彰者数：概ね5件前後

(3) 国際交流フェスティバル

県民が異文化に触れるとともに、国際交流や国際協力などに取り組む県内の団体が活動状況を紹介する機会を提供する。

期 日：11月29日（日） 場 所：オーバード・ホール／中ホール

主 催：富山市民国際交流協会、とやま国際センター、JICA 北陸

(4) 国際交流団体等ネットワーク化

未登録の団体にネットワーク登録を働きかけるとともに、ネットワークの一層の活用を促す。

2 国際協力事業

計画額 5 1, 8 8 4 千円

(1) とやま研修員等の受入

ア とやま研修員

富山県が受け入れるとやま研修員について、滞在中の日常生活等を支援する。

受入予定	ブラジル	1名
	中 国（雲南省）	1名

イ 多文化共生推進研修員

ブラジル人児童の学習支援のため、富山県が受け入れる多文化共生推進研修員について、滞在中の日常生活等を支援する。

受入予定	ブラジル	1名
------	------	----

(2) 外国人留学生への支援

ア 県費留学生の受入

富山県が県内の大学へ受け入れる留学生について、滞在中の日常生活等を支援する。

受入予定	中 国（遼寧省）	1名
	ブラジル	1名
	インドAP州	1名

イ 私費留学生への支援（国民健康保険の加入助成）

私費留学生及び日本語教育機関の学生の国民健康保険加入促進のため助成金を交付する。

・助 成 額	年額12,000円
・支給予定 私 費 留 学 生	320名
	日本語教育機関学生 110名

ウ アセアン留学生の受入

富山県が県内企業と連携して、留学から就職までを一体としてアセアン地域から受け入れる留学生について、滞在中の日常生活等を支援する。

第6期 受入留学生 マレーシア1名、ベトナム1名

受入期間 令和6年10月（1名は11月）～令和9年3月（2年6ヵ月）予定

(3) NOWPAP 支援協力事業

国際連合の機関であるNOWPAP（北西太平洋地域海行動計画）地域調整部富山事務所の活動が円滑に運営されるよう支援する。

(4) 青年海外協力隊事業への支援

JICA（独立行政法人国際協力機構）が実施する青年海外協力隊をはじめとする JICA ボランティア事業参加者の帰国後の活動を支援する。

(5) 海外移住者及び関連団体への支援

在外県人会活動費補助金	1,170 千円（ブラジル、アルゼンチン）
南米協会活動費補助金	1,000 千円
海外移住家族会活動費補助金	5,770 千円

3 多文化共生事業

計画額 25,896 千円

(1) 多文化共生フォーラムの開催

県民や在住外国人の多文化共生に関する理解を深めるため、日本で暮らす著名な外国ルーツの方をゲストとして招き、トークショー（対談）等を実施する。

(2) 富山県外国人ワンストップ相談センターの運営

県から委託を受け、県内在住の外国人に対して情報提供や相談を行う「富山県外国人ワンストップ相談センター」（令和元年6月18日開設）を運営する。

ア 外国人のための生活相談等の実施

県内で暮らしている外国人が母語で相談できるよう、外国人の相談員や国際交流員が面談または電話等で対応する。

- ・専任職員（相談コーディネーター及び相談員）、国際交流員を配置し、英語、中国語、ポルトガル語、ベトナム語、韓国語、テルグ語、ロシア語に対応
その他の言語については、遠隔通訳サービス会社との契約による iPad や多言語翻訳機（ポケトーク）で対応
- ・生活相談をリアルタイムで解決できるよう三者通話機（トリオフォン）を活用し、具体的な照会先となる関係機関等と相談者の通訳サポートを実施

イ 相談員のスキルを高めるための仕組み

- ・コーディネーターと相談員で相談内容を共有し、ケースに応じて複数日をかけて相談に対応
- ・定期的に相談事例についての検討会（県、とやま国際センター、ワンストップ相談センター）を実施
- ・相談員が悩みを共有できる機会の企画
- ・相談結果の共有のためのデータベース化を実施
- ・相談員のスキル向上を目指す研修会の実施

ウ 相談体制の充実を図るための関係専門機関との連携強化

- ・国の機関、県・市町村の他の相談窓口、外国人支援機関（日本語教室やNPO等）と連携を強化
- ・ワンストップ相談センターの存在を外国人や関係機関に周知するための広報活動の実施

(3) 地域日本語教育事業

ア 地域日本語教育体制整備事業

外国人住民を対象に基礎日本語教室を開催するとともに、県内の日本語教育環境を強化するため、日本語事業全般のコーディネート業務を行う。

時 期：通年 対象者：県内在住外国人 場 所：県内4か所

イ 日本語支援強化事業

○日本語交流サポーター養成講座の開催

時 期：4月～8月 全10回 定 員：20名程度 場所：富山市

○日本語教室運営支援事業

地域日本語教室に日本語教育専門家の派遣等を行い、教室の安定的運営と日本語支援スキルの向上を図る。

○日本語支援者スキルアップ研修会

県内各日本語教室のボランティア等のスキルアップや情報交換を目的として、研修会を開催する。

(4) 外国語の絵本よみきかせ親子の会

外国語の絵本の読み聞かせを通して、外国籍の子どもには母国語や母国の文化に接する機会を提供し、日本人の親子には海外の文化に触れる機会を提供する。

回 数：毎月1回 土曜日又は日曜日 全12回

場 所：とやま国際センター ラウンジ

教 材：英語、中国語、ポルトガル語、ロシア語、ベトナム語 の絵本などを利用

(5) 外国人住民地域防災力向上事業

能登半島地震での経験を踏まえ、災害時に外国人住民を支援するための各種訓練・研修を実施し、外国人住民の地域防災力の向上を図る。

ア 富山県災害多言語支援センター運営訓練

県、とやま国際センターなどが合同で県災害多言語支援センターの初動訓練を行う。

時 期：5月及び7月頃 場 所：とやま国際センター研修室等

参加者：災害発生時に災害多言語支援センター設置・運営に係わる者など
(市町村防災担当者、市国際交流協会担当者を含む)

イ 外国人のための防災研修

外国人住民の防災基礎知識を向上させるとともに、地域の日本人住民の参加も募り、地域住民としての平時のつながりを強化する研修を実施する。

時 期：未定 場 所：市町村コミュニティセンター等

ウ 広域連携による防災研修（北陸三県の県及び国際化協会が共同で持ち回り開催）

大規模災害時における石川県、福井県との連携を想定した「災害時外国人支援防災研修」を実施する。

時 期：7月頃 場 所：石川県内

参加者：各県の災害時外国人支援ボランティア等

エ 富山県総合防災訓練への参加

富山県総合防災訓練に併せて、専門家による講義や支援訓練を実施する。

時 期：9月頃 場 所：富山県内

参加者：外国人住民、日本人住民、災害時外国人支援ボランティア等

(6) 外国人コミュニティリーダーつながり事業

一定の要件（コミュニティの状況理解、SNS 活用能力等）を満たす外国ルーツの方々に当センターと LINE でつながってもらう。コミュニティリーダーとしての意識涵養を期待。

役 割：各種情報（防災、生活、イベント等）を SNS によりコミュニティへ伝える
コミュニティ内の意見や困りごとを行政や相談窓口につなぐ など

研 修：リアルまたはオンラインにより年2回程度開催

(7) オンライン多文化理解連続講座

富山に縁のある海外在住者、有識者等を講師に迎え、各国の歴史や文化、生活習慣等に関するオンライン講座を開催する（年4回程度）。

(8) こどものためのグローバル教育セミナー

子どもたちのグローバル教育をテーマとして各回様々な講師を招き、多様な社会を生きぬくグローバル教育について考えるセミナーをオンラインで実施する（年2回程度）。

拡 (9) 多文化居場所づくり事業

日本人との対話を通じて日本語能力の向上を目指す対話教室を開催する。また、外国ルーツの子どもたちに対し宿題等の学習サポートを行うとともに、サポーターとなる人材の養成を行う。

ア 初級対話教室

回 数：6回（日曜日）

場 所：とやま国際センター

新 イ 子どもの学習サポート

回 数：週1回（日曜日）全16回

場 所：とやま国際センター

新 ウ 子どもサポーターの養成

回 数 4回（日曜日）

場 所：とやま国際センター

4 国際理解・研修事業

計画額 1,966千円

拡(1) 語学講座の開催

講座名	コース名	定員	回数	時期
中国語	入門	10名	30回	5月～3月
	初級	10名		4月～12月
	中級	10名		5月～2月
韓国語	入門	20名	30回	5月～2月
	初級 昼	20名		5月～3月
	初級 夜	20名		5月～3月
英語	時事	20名	10回	4月～7月
	初級	20名	15回	未定
ベトナム語	入門	10名	15回	4月～10月
	初級 新	20名	30回	4月～3月
ポルトガル語	初級	10名	30回	5月～3月
ロシア語	入門	10名	15回	未定
インドネシア語	入門 新	10名	15回	4月～10月

場 所：とやま国際センター研修室

(2) 国際理解出前講座

地域の国際交流協会や小中高校、大学などからの要望に応じて現場へ出向いて講座を開催し、国際交流・国際理解・国際協力について理解を深めてもらう。

講 師：国際交流員、JICA職員、青年海外協力隊OB等

(3) 国際交流サロン（ナマステ・インディア）

インド出身の国際交流員が、毎回テーマを設けてインドのさまざまなことについて英語で県民に紹介するとともに、そのテーマについて参加者みんなで自由に語り合う。

回 数：毎月2回 場 所：とやま国際センター研修室

(4) English Immersion Classroom

ALT（外国語指導助手）等外国人を講師として、英語で美術、音楽、歴史など様々な科目の授業を体験してもらう。

回 数：年3回

(5) 国際交流ひろば

7カ国から受け入れている国際交流員または県内在住外国人を講師とし、料理教室などの交流を通じて県民の国際理解を深めるとともに国際感覚の醸成を図る。

講 師：国際交流員2名、県内在住外国人2名

回 数：年4回

(6) English Reading Club

在住外国人をコーディネーターとして英語の本を読む読書会を開催し、文化・習慣の違いについて語り合う。

回 数：年4回

5 情報サービス事業

計画額 859千円

(1) 情報発信事業

県民の国際交流、国際協力、多文化共生等に関する関心、理解を高めるとともに、県内在住の外国人に対して生活に必要な情報を提供することなどを目的として、ホームページ、SNS、機関紙「TIC NEWS」等を通して情報発信を行う。

(2) 国際交流人材バンク

通訳・翻訳・日本語指導・ホームステイ受入れ・海外事情の紹介、災害時外国人支援ができる人材の登録と紹介を行う。

また、通訳者を対象としたレベルアップのためのセミナーを年1回開催する。

6 富山県大連事務所運営事業

計画額 34,720千円

(1) 経済交流の推進

企業訪問や来訪者対応による情報収集、県産品の展示会出展支援、商談会やセミナーへの参加、観光PRなど。

(2) 各種交流事業への支援

文化交流、学校間交流などの多様な交流事業に対する協力など。

(3) 富山ファン倶楽部の活動

総会や大連分会の開催、新規会員の加入促進など。

II 日本海学推進事業

計画額 3,952千円

1 日本海学講座

一般県民を対象に大学教授等の研究者による日本海学に関する講座を開催する。

時 期：8月～12月

場 所：富山市、高岡市

2 日本海学シンポジウム

一般県民を対象に日本海や環日本海の理解を深めるためのシンポジウムを年1回開催する。

時 期：10月～令和9年1月ごろ

場 所：富山市

3 大学講座等推進事業

富山国際大学 「環境デザイン特別講義」に講師を3回派遣

富山県立大学 「富山と日本海」の講義に講師を3回、「環境論Ⅰ」の講義に講師を2回派遣

4 日本海学研究グループ支援事業

日本海学に関する研究、普及・実践活動に取り組む個人、グループ、団体に対して助成する（継続事業のみ）。

III 旅券関係事業

計画額 52,142千円

旅券の発給申請の受理及び交付事務の補助業務を行う。

名 称	富山県旅券センター	富山県旅券センター高岡支所
所在地	富山市桜町1丁目1番61号(マリエとやま7階)	高岡市御旅屋町101番地(御旅屋セリオ7階)
業務内容	月曜日から金曜日 申請受付及び交付 (火曜日と木曜日は交付のみ夜間延長あり) 日曜日 交付のみ	月曜日から金曜日 申請受付及び交付 日曜日 交付のみ
閉庁日	土曜日・祝日及び年末年始(12月29日から1月3日)	